

酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会 歴史に見る鶴岡のむかしむかし

■問合せ 本所政策企画課 ☎25・2111 内線525
 ■監修 郷土資料館
 ■出版 典 『鶴岡市史上巻』 発行・鶴岡市役所

酒井家と大督寺

三代当主酒井忠勝公が鶴ヶ岡城を整備した際に、三の丸の西南隅（現在地）に酒井家の菩提寺である大督寺が置かれました。

大督寺は、初代忠次が三河にいた頃の大樹寺が起源とされています。二代家次が下総の碓井に転封された際、隠居していた大樹寺十六世慶円和尚を同地に招き大信寺をおこしました。大信寺は、酒井家が上州高崎に転封されたときにも移り、忠次夫人碓井姫（徳川家康の叔母）が死去した際、法名を大督寺と



酒井家墓所の門



大督寺。忠愛の心に基づいた学校給食発祥の地としても知られています

したことから、寺号を大督寺と改めました。その後、三代忠勝が当主となり、越後高田、信州松代を経て、元和8年（1622）の庄内入部に従って鶴岡に移ってきました。庄内藩では酒井家当主の遺体は、幕府の許可を得て鶴岡に送られ埋葬されました。本来、参勤交代で江戸在勤時に死去した場合、江戸に埋葬することになっていたため、異例の待遇を受けていたことがうかがえます。

酒井家墓所の一般公開に向けて

大督寺に隣接した広さ約7、270㎡にわたる墓所には、初代忠次から始まる歴代当主や夫人たちの墓が45基あります。

これまで一般公開はされてきませんでしたが、令和4年の酒井家入部400年を記念した一般公開開始に向けて、一般社団法人庄内酒井歴史文化振興会が設立されました。城下町鶴岡の新たな価値づくりとともに、地域住民の誇りとなる特別な場所を目指しています。



学術的な調査を実施

酒井家歴代当主の墓石には、中国古来の四神の一つ玄武由来する亀のような形を用いた台座が多数あることから、貴重な歴史的資料であるとも考えられます。

本市では、現地確認や資料収集を行うなど、学術的な調査を進めていく予定です。



編集・発行／鶴岡市総務部総務課

鶴岡市役所 本所 ☎997-8601 山形県鶴岡市馬場町9-25 ☎0235-25-2111 FAX0235-24-9071
 (メールアドレス) tsuruoka@city.tsuruoka.lg.jp
 (ホームページ) http://www.city.tsuruoka.lg.jp
 (フェイスブックページ) https://www.facebook.com/tsuruokacity
 (窓口受付時間) 月曜～金曜日(祝日・年末年始を除く) 午前8時30分～午後5時15分

藤島庁舎 ☎999-7696 市内藤島字笹花25 ☎64-2111
 羽黒庁舎 ☎997-0192 市内羽黒町荒川字前田元89 ☎62-2111
 櫛引庁舎 ☎997-0346 市内上山添字文栄100 ☎57-2111
 朝日庁舎 ☎997-0492 市内下名川字落合1 ☎53-2111
 温海庁舎 ☎999-7205 市内温海戊577-1 ☎43-2111

→メールはこちら



→ホームページはこちら



《人口と世帯》(令和2年5月31日現在)
 住民基本台帳人口合計：124,624人
 (男：59,596人、女：65,028人)
 世帯数：49,072世帯